

助成事業実施報告書

団体名 ネットワーク・市民アーカイブ

代表者・役職名 氏名 町村敬志

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

市民活動資料センター「市民アーカイブ多摩」——整備体制のさらなる充実をめざして

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2006年「市民活動資料・情報センターをつくる会」として発足。センター設立をめざし、2010年から募金活動。2013年、先行して(N)グリーンサンクチュアリ悠数地内に開設されていた「ミニコミ広場」の施設移行・提供の申し出を受け改修を施し、2014年4月資料センター「市民アーカイブ多摩」を開設。同時に運営団体として当会を設立、組織を移行した。会員数139人。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

公的な図書館等では「市民資料」は収蔵対象でない場合も多いが、それらは生活者・当事者からの発信であり、重要な問題解決の手がかりとなり得る。現在及び後世の人々にとって希少・貴重な資料であり、これらの集積や体系的整備が求められる。

都立多摩社会教育会館収集市民活動資料約500箱を事業終了後も散逸させないための活動を発端とし、法政大学大原社会問題研究所などと協同しつつ、2014年、資料センター「市民アーカイブ多摩」を開館した。資料・施設の整備とともに、長期的に持続できる体制の構築が本プロジェクトの目的である。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

新着ミニコミの安定的な整理に加え、過去の未整理資料・新規受入資料の速やかかつ正確な処理を可能にするため、資材・機材・人体制のいっそうの整備・充実を図る。また、資料センターのタイトル数と会員・来館者の増加を目指して、センターの内外での諸活動を行う。2017年度は、第3期「緑蔭トーク」、シンポジウムの開催、他資料館の見学会等に重点を置き、積極的な広報により会員・担い手の勧誘活動を展開し、また新規資料収集に取り組みたい。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「結果」開館日数 74日 来館利用 94人／講演会・トーク・見学会等開催 9回 参加 175人／「通信」発行 3回 計 6000部／新規ミニコミファイル作成 135タイトル(総数 1,707タイトル)／新規ミニコミ受入数 5,065点(総数 42,222点)

「成果」資料室の整備が進んだ(スタッフ増加による定期開館体制の安定化と研修による開館対応の充実、資料依頼の充実、新規収集タイトルの円滑な配架、大型ファイル作成・分類表一部改訂等利用しやすい体制づくり)／通信配布の充実(図書館・博物館等への送付等)／講演会等の充実(参加者や講師の入会)

「社会的変化」近隣住民への認知度の向上／遠方からも閲覧希望が寄せられた

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度まで

開館4年となり、施設や資料の整備は安定的に行えるようになってきたが、収集対象の拡大、より利用しやすい公開体制など、収集・保存・公開の整備に引き続き取り組む必要がある。また、会員と運営委員を増やし、組織強化をはかる必要がある。今後は積極的な広報活動やさまざまな公開事業を通して、より多くの人びとが市民活動資料と出会う機会を増やす。そのために、「市民アーカイブ多摩」の整備をすすめ利用者を増やす、学習・研究活動を行い会員・運営委員自身が市民活動資料についての認識を豊かにすると同時に、広く関心を持ってもらえる機会として講演会や通信を充実させたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

ネットワーク・市民アーカイブ 2017 年度の活動から



①開館3周年記念講演会「“情報公開”の現在とアーカイブ」講師：三木由希子さん（2017.6.18）



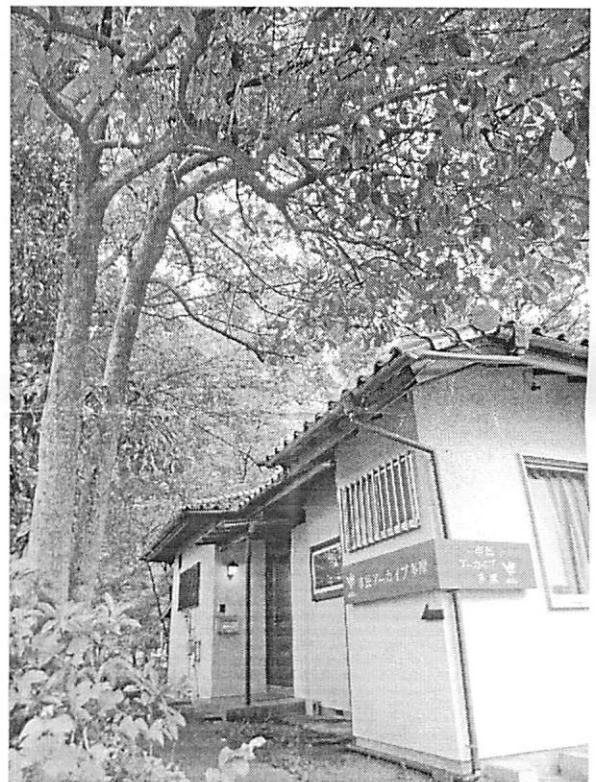
④資料センター書庫内風景



②緑蔭トーク第2回「市民の学びの拠点はどこに？」（2017.7.22）



③講演会「受け継いでいく思いーハンセン病文庫から国立の資料館へ」講師：黒尾和久さん（2018.1.8）



⑤資料センター「市民アーカイブ多摩」外観（入口側から）